

# 外部労働市場の活性化 —労働市場イソフラーの戦略的強化—

- 『外部労働市場の活性化』により、『人材の最適配置・最大活用』を目指す。
- そのため、労働市場イソフラー(マッチング機能・能力評価制度・能力開発制度)を戦略的に強化する。

## 労働市場イソフラーの戦略的強化

- 外部労働市場全体としてのマッチング機能を最大化
- 企業横断・業界共通の能力評価の『ものさし』を整備
- 産業界のニーズに合った職業能力の開発を推進(職業訓練の充実)
- こうした取組に加え、個人が主体的にキャリア形成を図ることができる環境を整備

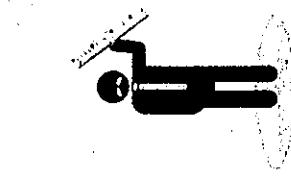
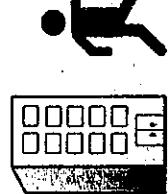
## POINT 平成28年度までの3年間を集中強化期間と位置づけ、労働市場イソフラーの戦略的強化を図る。

### 成熟企業

#### 外部労働市場全体としてのマッチング機能の最大化

- 労働市場イソフラーの中核としてのハローワークの役割発揮  
⇒求人情報+求職情報の提供

- ハローワークの機能強化  
⇒HWの評価・職員の専門性向上
- 民間ビジネスの適切な評価と活用
- 労働市場全体としてのマッチング成績の評価:向上



説明 2-2

#### 産業界のニーズに合った職業訓練のベストミックスの推進

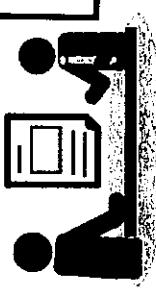
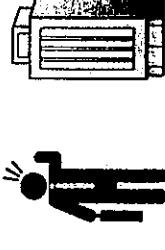
- 産業界のニーズも踏まえた訓練拡充
- 訓練のベストミックスの推進
- 民間教育訓練機関の育成・振興

#### 個人主導のキャリア形成支援

- ジョブ・カードの抜本的見直し
- コンセプトの抜本的見直し(「キャリア・パスポート」へ)
- 企業への協力要請・インセンティブ付与
- 労働市場の流動化の更なる進展に合わせて、電子化等を推進
- キャリア・コンサルティングの体制整備
- キャリア・コンサルタントの計画的養成
- 企業等における体制整備の推進

#### 業界共通の「ものさし」としての能力評価制度の構築

- 業界検定の創設など、総合的な能力評価制度の構築
- 能力評価と訓練の一体的の運用



# 業界共通の「ものさし」としての能力評価制度の構築

「マッチング機能の最大化」に向け、外部労働市場型（採用時等）の能力評価制度の刷新が不可欠

→ 現行技能検定制度（S34～ものづくり中心）のアップデートに加え、  
企業横断・業界共通の能力評価の「ものさし」として業界検定を新たに創設し、  
職業能力の「見える化」を推進（職種のカバー率を大幅に拡大）

→ 『産業界が求める職業能力』と『各人が有する職業能力』が  
客観的に比較可能に（マッチングツール、キャリアラダーとしての積極活用）

## 1. 業界検定の創設など総合的な能力評価制度を構築（26年度より開始）

○ 特に、ジョブ型の働き方の普及・拡大が見込まれる業界（対人サービス分野等）において、非正規社員のキャリアアップにも資する、より実践的な業界検定を創設。

業界検定スタートアップ支援事業を創設（26年度、4業種より開始）

研究会報告を受けて →

並行して、技能検定制度の充実を含む能力評価制度全体の見直しを検討  
（年次に、法改正を含め、能開法全体の在り方にについて検討する場を設置）

## 2. 能力評価と教育訓練の一體的運用

○ 共通の人材像に基づく教育訓練のゴールと能力評価との有機的な関連を構築し、  
さらに、その成果をキャリア・パスポート（仮称）にも反映・活用。  
(26年度より逐次実施)

25年9月より学識者による研究会で検討開始  
(年度内に報告書を取りまとめ予定)

# 外部労働市場の活性化 【工程表】

平成28年度までの3年間を、『集中強化期間』と位置づけ、労働市場インフラの戦略的強化を実施。

外部労働市場全体としてのマッチング機能の最大化

能力評価制度の構築

職業訓練のベストミックス推進

個人主導のキャリア形成支援

25年度

26年度

27年度

28年度

29年度

労働市場インフラの中核としてのハローワークの役割発揮

ハローワークの機能強化

民間ビジネスの適切な評価と活用

労働市場全体としてマッチング成果の評価・向上

業界検定の創設等、総合的な能力評価制度の構築

能力評価と訓練の一体的運用

産業界のニーズも踏まえた訓練拡充

訓練のベストミックス推進

民間教育訓練機関の育成・振興

ジョブ・カードの抜本的見直し

キャリア・コンサルティングの体制整備

求人情報の開放

求職情報の開放

HWの求職者に対する民間人材ビジネスへの誘導

HWのパフォーマンスを評価・公表／職員の専門性・資質向上

検討 → 実施

ITの利活用の促進（可能なものから順次実施）

優良な民間人材ビジネスの認定

基準作成 → 実施

民間人材サービス推進室を設置、育成・活用策を強化

官民統合指標の導入等を検討

能力評価研究会開催/取りまとめ

業界検定スタートアップ事業

→ 能力評価制度全体の見直しを含む能開法全体のあり方検討

検討会開催

順次実施し、成果をキャリア・パスポートに反映

経済社会のニーズに応じた多様な訓練コースの設定

産官学の地域コンソーシアムによる訓練開発

モデル実施 → 本格実施

都道府県・労働局・高障求職機構などが一体となって訓練のベストミックスを推進

ISO29990に沿ってPDCAサイクルにより訓練サービス全体の質を高める取組を促進

ガイドラインの研修を全国で実施

コンセプトの抜本見直し

企業に対する協力要請  
助成金でインセンティブ付与

外部労働市場の整備・強化に合わせて、電子化やネット化での共有を推進

モデル実施 → データベース化に着手

キャリア・コンサルタントの計画的養成

専門後討会・審議会開催・委成  
計画策定

体制整備の方策を検討・結論

